

学生チャレンジプロジェクトSDGs活動報告書



プロジェクト名

No.15 学生による空き空間の活用を通じたプレイスメイキング

プロジェクトのターゲット目標(17項目)を○で囲んでください。

No.01	No.02	No.03	No.04	No.05
o.06	No.07	No.08	No.19	No.10
○No.11	○No.12	No.13	No.14	No.15
o.16	○No.17			

活動報告

瀬戸市末広商店街および岩屋堂公園において、空き家や空き空間を国際芸術祭と連動したイベント会場として活用し、DIYによる最小限の改修を施すことで、これまで使われていなかった場所を魅力的な滞在空間へと転換することができた。この取り組みは、空き家問題の解決に向けた一つの実践例となり、地域に人の流れを生み出すことで、住み続けられるまちづくりの可能性を示した。この活動によって、No. 11「住み続けられるまちづくりを」のゴールに寄与する成果が得られた。

また本活動は、No. 12「つくる責任 使う責任」のゴール達成にもつながっている。空き家を全面的にリノベーションしたり解体したりするのではなく、「空きスペース」として捉え直し、DIYによる必要最小限のものづくりによって空間の価値を高めた。この手法により、資源やコストの過剰な消費を抑えつつ、持続可能な形で空き家を活用するモデルを実践することができた。

さらに、No. 17「パートナーシップで目標を達成しよう」のゴールも本活動を通じて達成された。愛知県、瀬戸市、アーティスト、学生といった多様な主体が連携し、それぞれの役割を活かしながら活動を進めることで、持続可能性と地域活性化の両立を目指した取り組みが実現した。こうした協働のプロセスそのものが、今後のまちづくりにおける重要な基盤となると考えられる。

写真



写真



団体紹介

瀬戸市で開催される国際芸術祭との連携を図りながら、地域再生に貢献すると共に、過ごしやすい空間をDIY等を通して創り出し改善していくプレイスメイキングを行っています。